

第40回全日本民医連呼吸器疾患研究会ニュース

かがやき2号

第40回全日本民医連呼吸器疾患研究会 in 石川
メインテーマ: 40年の軌跡、その先へ
日程: 11月27日(金)～11月28日(土)
会場: 金沢都ホテル

第3報までご案内しております！

- ・演題募集中 8月28日(金) 締切
- ・抄録募集中 9月25日(金) 締切
- ・参加募集中 10月20日(火) 締切
- ・宿泊案内 10月20日(火) 17時 締切
- ・パワーポイント募集中 11月6日(金) 締切

※北陸新幹線開業のため石川県内、大変込み合っておりますので、宿泊施設はお早目のご予約をお願いします。

第40回全日本民医連

呼吸器疾患研究会実行委員会

実行委員長: 中内 義幸(寺井病院)

事務局長: 廣瀬 辰巳(城北病院)

事務局連絡先:

石川県金沢市京町20-3 城北病院

医局内(TEL:076-251-6111)

E-mail: minkoken40@jouhoku.jp

HP: <http://jouhoku-hosp.com/miniren/>

6/6 百万石祭り 盛大な太鼓演奏！

「写真提供: 金沢市」



応募はHPからお願いします。

<http://jouhoku-hosp.com/miniren/>

民呼研in石川を10倍楽しむための石川紹介 石川の地酒紹介



あめの俵屋

金沢で一番古い飴屋さんの紹介をさせていただきます。創業は天保元年、百八十数年の伝統を誇る店舗です。俵屋の飴は、金沢のお土産ものとしても有名ですが、もともとは、創業者のある思いが込められた品物なのです。まだ生活の中に、砂糖が使われることがなかった時代、乳飲み子を抱え、母乳が出ずに困り果てていた母親の姿を見た創業者が、「何か母乳の代わりになるものを作ることができないか？」と考えだされたものが、俵屋の「じろあめ」です。原料は良質の米と大麦。栄養価高く滋養に良いといわれています。金沢で生まれ育ちました私は、風邪をひいたときや、食欲がないときには今でも「じろあめ、なめまっし。」とすすめられることもあります。

やはりおすすめは「じろあめ」です。金沢のお土産にいかがでしょうか。(実行委員 嶋本)

好評？につき第2回、石川の地酒を紹介させていただきます。まずは「加賀鳶」です。蔵元は福光屋。味わいとしては辛口。味音痴の自分にはこうだ！とは断言できませんが、飲んだ瞬間から後口までスッと切れるかのような味わい。「あ～、これが辛口か…」と納得できる味わいです。銘柄によって酒米を使い分けるこだわりもありますが、どの銘柄も「加賀鳶」ならではの辛口であることには変わりありません。

「宗玄」は奥能登、珠洲市の蔵元は宗玄酒造株式会社。能登では最大級の酒蔵です。味わいは、世間的にはどっしりとして甘口ということになっています。が、自分は何故かキレのある味わいが感じられます。ドスン！と押し切られるような感覚でしようか。

上記の「加賀鳶」もそうですが、様々な銘柄を出しており、限定生産も数多くありますが、その辺に売っている普通の奴で十分楽しむことができますので、深みに嵌まり込むのは後のお楽しみにして、まずは一杯飲んでみてください。(実行委員 松村)